
堀 鐵藏メ〜テレ社長定例記者会見

メ〜テレ(名古屋テレビ放送)は、3月14日午後本社にて、堀社長の定例記者会見を行いました。

【新年度を迎えるにあたり】



全ての放送局で「地上デジタル放送」が開始され、今年に入り、受信機の普及は3000万台を超えたとの調査結果がある。2011年7月のアナログ停波まで残すところ4年を切り、今年度は、私たちテレビ局にとって、「地上デジタル放送」のより具体的な魅力や実用性を伝えるための重要な1年と位置づけている。当社の2008年度のデジタル化の計画は、中継局を新たに8局開局し、カバー率は95.6%（「平成12年度国勢調査による東海3県内の総世帯数」を分母に試算）となる。

スタジオ、サブ、中継車のHD化は既に完了しており、カメラ、編集機材をこの上期に集中的に進める。

デジタル化への投資は放送局、特にローカル局の経営の大きな負担となっている。テレビ広告費も3年連続で前年割れの見通し。これらの動きは、従来のテレビ局の経営やビジネスモデルに変革を迫るものと考えている。

メ〜テレはこの激動の時代に備え、2005年に中長期経営目標を掲げた。完全デジタルに移行する2011年までに、在名トップの座を獲得することを目指し取り組んでいる。2004年には5位だった全日視聴率は、2007年度をこのまま終えれば2位に浮上する。視聴率は順調に推移しており、2008年度も「地域密着」、「系列貢献」、「事業拡大」の3本の柱を軸に、従来の方針を進めていく。

【2007年度 視聴率について】

今年度通期の3月9日現在の視聴率状況。このままの数字で今年度を終了すると、●全日 8.9%は25年ぶりの高視聴率、●全日 2位は25年ぶりの高順位、●ゴールデン、プライムともに前年の3位から2位へ、●プライム2は5年連続1位となる。

▼メ〜テレ2007年度 視聴率(通期:4/2-3/9)

	全日(6:00-24:00)				ゴールデン(19:00-22:00)				プライム(19:00-23:00)				プライム2(23:00-25:00)			
	当年順	当年	前年順	前年	当年順	当年	前年順	前年	当年順	当年	前年順	前年	当年順	当年	前年順	前年
通期(暫定)	2	8.9%	3	8.6%	2	13.0%	3	12.8%	2	14.2%	3	13.9%	1	8.7%	1	9.3%

▼全日視聴率順位の4年間の推移

04年度/5位 → 05年度/4位 → 06年度/3位 → 07年度/2位(暫定)

2005年以降、中長期経営目標の柱の一つ「地域密着」に重点を置き、特に、朝ワイド「どですか！」(月～土)、夕ワイド「UP！」(月～金)を強化してきた。それぞれの視聴率を2004年と比較すると「どですか！第2部」が+2.1ポイント、「UP！」が+2.6ポイントと大きく数字を伸ばし、これらの取り組みが、全日視聴率の向上に寄与した。

【4月改編について】

4月改編は、「どですか！」「UP！」を含めた各自社制作番組が順調に推移しているため、企画を強化することで内容の充実を図る。中長期の柱の一つである「系列貢献」を目的にスタートした「ラブちえん」は、平均視聴率10%を超え、現在、16地区のテレビ局で放送されている。しかし、最終的な目標は全国ネット。ネットでのレギュラー放送に向けさらに内容を強化していく。

レギュラー番組は、火曜日・深夜の週替わりの番組(25:20～25:50)で、第1週と第3週を笑いのエンターテインメント「サバ〜イ」とし、第2週、第4週を音楽エンターテインメント「BOMBER-E」とする。

単発番組では、ストイコビッチ新監督を迎えた名古屋グランパス、J2へ昇格したFC岐阜と、地元Jチームを応援してく。Jリーグは3月23日から3週連続で放送する。先月には、名古屋グランパスとFC岐阜がJチームとしてエリア内で初めて激突する東海ダービーを開催し、プレシーズンマッチとしては異例の1万人の観客を動員した。放送でも、深夜の中継では初の試みとなる連動データ放送を視聴者サービスの一環として取り入れた。昨年、名古屋はドラゴンズの53年ぶりの日本一に沸いたが、サッカーでもグランパスのJ1制覇、FC岐阜の活躍などをサポートしていきたい。

【放送外事業について】

当社は昨年7月に事業室を再編した。デジタル技術を専門に取り扱い視聴者への付加価値向上やショッピングサイト・メ〜コレなどの新規ビジネスのチャンスを探るデジタル事業部、放送関連のイベントや放送外の演劇・ミュージカルなどを招聘するイベント事業部、映画への出資やDVDの発売元を手がけるデジタル企画部の3部門の体制とした。2008年度は、これまでの事業に加え、各部門がメ〜テレの人気番組をそれぞれの専門分野で放送外の事業へと拡大していく。

イベント事業部は、今年の1月、「メ〜テレ&よしもと サバ〜イ祭」と題し、お笑いライブを開催し、2公演、およそ3000席を完売した。

「BOMBER-E」は2004年、月に一度の番組として立ち上げ、その時から一貫しているコンセプトは「視聴者の皆さんにアーティストと直接触れ合う場を提供したい」というもの。これまでも数多くの著名なアーティストがメ〜テレのスタジオで歌やトークを披露した。この4月、「BOMBER-E」はメ〜テレのスタジオを飛び出し、ライブハウスでの展開を手始めに、年度末には、その集大成として大規模な音楽イベントを考えている。

デジタル企画部は、番組やイベントのDVD化に挑戦していく。今年1月には開局45周年記念番組「ガンジス河でバタフライ」、2月にはレギュラー番組「げりらっパ」のDVDを当社が発売元として製作し、全国発売した。それらはメ〜コレでも販売していく。

視聴者の皆様が必要とするエンターテインメント「音楽」、「笑い」、「スポーツ」を放送するだけでなく、様々な形でお届けすることで地域への貢献を果たしていきたい。

◆事業室の主な取り組み

- ・メ〜コレ／2007年4月～（デジタル事業部）
- ・プロトウェイミュージカル「Swing！」／2008年9月5、6、7 愛知芸術劇場大ホール（イベント事業部）
- ・「BOMBER-E」プレミアムライブ（仮）／2008年度開催予定（イベント事業部）
- ・台湾ドラマ／「君につづく道」（台湾オリジナル）2008年4月～（デジタル企画部）
 - ＊2007年度実績：「薔薇のために」（小学館コミック）、「悪魔で候」（集英社コミック）
- ・主な出資映画／スシ王子・4月19日公開予定、相棒―劇場版・5月1日公開予定
まぼろしの邪馬台国・秋公開予定（デジタル企画部）

【CSRについて】

メ〜テレは、価値ある企業として支持され、持続的な成長、発展を遂げていくために、CSR活動に取り組んでいる。

今年に入り、独立した規則として「インサイダー取引防止規則」を新たに制定し施行した。コンプライアンスマニュアル、個人情報保護規定も改定した。規則は実態に合わせ、その都度、新設、改訂を繰り返し、研修を実施している。

「環境への取り組み」については、2002年には国際規格である「ISO14001」を認証取得している。2006年には、「名古屋市エコ事業所」に認定され、今年1月、「第1回 名古屋市エコ事業所 優秀賞 環境管理システム部門」を受賞した。これは「チームマイナス6%への参加」、「ホームページにおける環境ニュース」および「環境スポットCM」の放送など「この地域の環境発信のリーダーとして活躍している」点が評価されたこと。

2001年にスタートした「南山大学 名古屋テレビ講座」は更なる充実を図る。4月からは全学年、全学科から前期・後期各定員50名の学生を対象に、デジタル時代を迎えたテレビの現状を理解するとともにテレビの報道現場を実践的に学ぶ場を提供し、より一層、メディアリテラシーの向上に寄与することを目指している。

【経営状況について】

今期の決算見込みは、主要のスポット売り上げが2年連続で前年を下回る見込み。名古屋地区としては3年連続の前年割れで、放送事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。放送外事業の売り上げ増などプラスの要因はあるが、費用は中長期の経営目標に基づく番組強化、設備投資で増加傾向にあり、2期連続で減収減益となる見込み。

来期も、大手広告会社や民放連の民放営業収入見通しなど、前年割れの予測が多く、引き続き厳しい状況にある。しかし、ここ数年の取り組みの中で、こんな時代だからこそ、地域との係わりがいかにかに重要であるかを改めて認識している。

メ〜テレは地域に愛され、親しまれ、そして必要とされる放送局を目指し、メ〜テレならではのコンテンツを放送だけではなく幅広く展開し、視聴者の皆様に還元するとともに、放送外収入を拡大し、この時代を勝ち抜いていきたいと考えている。

以上

<問い合わせ先> メ〜テレ(名古屋テレビ放送)
名古屋市中区橋2-10-1
【社長室】 浅井 賢二 多湖 慎一 TEL:052-322-7107/7108